



イオン北海道からみなさまへ

プラスチック使用量の削減に 取り組みます

1 店頭での資源回収（食品トレー・ペットボトル等）

貴重な資源を捨てずに再資源化するために、店頭では食品トレー、ペットボトル、紙パック、アルミ缶の回収に取り組んでいます。一例として、食品トレーは、再度資源化して新しいトレー（エコトレー）に生まれ変わらせる「トレー-toトレー」の取り組みを(株)エフピコと連携して行っています。2020年度の回収量は約580万枚となりました。



資源回収BOX



2 トップバリュのラベルレス飲料 取り扱い開始

ケース側面に原材料の表示をしています。プラスチックごみが減るとともに、捨てる時にラベルを剥がす手間も省けます。



1箱：2,000ml
×6本入り

※店舗により取り扱いのない場合がございます。

3 レジ袋の削減

買物袋持参運動を継続して行います。また、現在有料で販売しているプラスチックレジ袋は、順次、植物由来素材が配合されたレジ袋に切り替えていきます。



6月は環境月間！店頭での資源回収を強化します

イオンでは、2030年までの目標として、「使い捨てプラスチック使用量を2018年度比で半減」「全てのPB商品で環境・社会に配慮した素材を使用」「PB商品のPETボトルを100%再生又は植物由来素材へ転換」という「イオンプラスチック利用方針」を2020年9月に策定しています。当社はこれまでも「レジ袋無料

配布の終了」と「資源回収・再商品化」を中心にプラスチック使用量の削減に取り組んでまいりました。今後もさらなる使い捨てプラスチック使用量の削減に取り組む、当社としては、2018年度対比で2025年までに35%削減、2030年までに50%の削減を目標に取り組んでまいります。

SDGsの取り組み



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



17 パートナシップで
目標を達成しよう

SDGs(持続可能な開発目標)とは、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みによりSDGsの目標12、13、14、17の達成に貢献します。